



攪拌不要、簡単施工

強力な固着力!

GE-410C
COOL

寒冷地用

樹脂カートリッジ
GE-410C

ミキシングノズル

インジェクションガン410

様々なボルト、異形鉄筋の サイズ形状に対応。

主剤（エポキシアクリレート）と硬化剤を
ミキシングノズル内で一定に混合されるので、
ボルトのサイズや下穴深さに関係なく安定
した固着力を発揮します。

【ご注意】 孔内清掃はブロー、
ブラシを併用して
十分に行ってください。

余分な樹脂は
除去してください。

樹脂カートリッジ

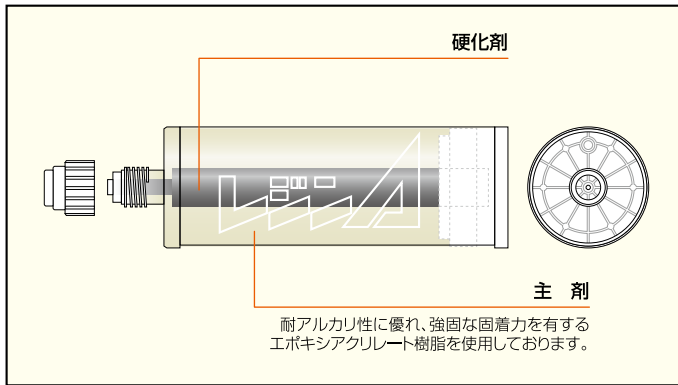
品番	容量 (ml)	内容 (本)	JANコード (4989270...)
GE-410C	410	GE-410Cカートリッジ×1 ミキシングノズル×2	930391

GEタイプ 専用パーツ

品名	品番	適合カートリッジ	JANコード (4989270...)
ミキシングノズル(3本)	RA-MX3	GEタイプ	930179
インジェクションガン410	RA-GUN410	GE-410/410C	930148

- 早い硬化時間の寒冷地用樹脂を使用。
- コンクリート、レンガ、石材、ALC、中空母材等に対応。

GE 構造図 (混合比 1:10)



GE-C 硬化時間 (サイズによって硬化時間が多少異なります。)

温度(℃)	-18	-10	-5	0	15
可使時間(分)	90	40	25	15	5
硬化時間(分)	540	150	75	45	15

施工仕様

呼び径(mm)	M8	M10	M12	M16	M20	M22	M24
穿孔径(mm)	10.0	12.0	14.0	18.0	24.0	25.0	28.0
穿孔深さ(mm)	80	90	110	130	170	190	210
必要樹脂量(ml)	4	6	9	15	42	43	66
参考締付トルク(Nm)	10	20	40	80	120	140	160

お取扱上の注意事項

当商品の取扱い、施工に際しては下記の注意事項、施工手順をよくご理解の上、お取扱い施工をお願い申し上げます。

警告



取扱説明書で指示されている以外の施工方法及び条件で施工されますと重大な人身に対する危険、及びアンカーの性能低下による重大事故につながる恐れがありますので、安全に関する注意事項及び、施工方法を全て遵守してください。この取扱説明書に書かれていない使用方法で行った場合生ずる障害については全てお客様の責任であるとお考えください。

注意事項

- 直射日光を避け、風通しのよい、温度のあまり上がらない5~25℃の冷暗所に保管してください。(40℃以上には絶対にしないでください。)
- 火気や高温物に近づけないでください。
- カートリッジは標準的な保存条件での使用可能期間は使用期限までです。
- 使用する際は、保護具(メガネ、マスク等)を着用してください。
- レジンが皮膚に付着するとまれに炎症を起こす事があります。すみやかにふきとり、温石鹸水で洗い流す等の処置をしてください。また、万一レジンが目に入った場合は直ちに大量の水で洗い流し、医師の処置を受けてください。

施工上の注意事項

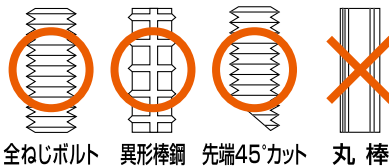
- 最初の使用やノズル交換時の最初のトリガー2~3回分は、樹脂が十分に混合されていない場合がありますので必ず捨ててください。**
(混合不良による強度低下の原因となります。)
- 穿孔径、穿孔深さは必ず仕様通りにしてください。
 - 孔内清掃は必ず金属ブラシとブロワーや集塵機を併用して十分に行ってください。
 - ミキシングノズルは使用前に装着してください。
 - 所定の硬化時間内は棒鋼を動かしたり、荷重をかけたりしないでください。

輸送・保管上の注意事項

- 作業中及び準備中でも直射日光に当てないでください。
- 夏場には車中に放置しないでください。
- 冷暗所に保管してください。
- 使用中のカートリッジを保管する際は、ミキシングノズルを着けたまま保管し、再度使用する際には新しいミキシングノズルを装着してから使用してください。(口元が硬化して吐出できなくなります)
- 保管期間中に気温の差異によりカートリッジ内の樹脂が一部分離した状態や袋の内部に付着することがありますが、製品性能に問題はありません。
- 保管方法が悪いと樹脂が劣化し品質性能が保証できませんので十分注意してください。
- 樹脂カートリッジの使用期限内で、開封後または使用開始後の使用期限は3ヶ月となります。

使用ボルト形状

- 丸棒には、使用できません。
- アンカー筋は全ねじボルトや異形棒鋼のように、表面に凹凸があるものを使用してください。



廃棄上の注意事項

- 使用後のミキシングノズル及び空容器は廃プラスチックとして廃棄してください。
- 内容物は河川等の環境中に投棄、漏出させないでください。
- 内容物の廃棄は、主剤・硬化剤を混合し硬化させてから廃プラスチックとして廃棄してください。

施工手順

